

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社会	歴史的分野	日本文教出版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入にある年表において、小学校で学んだ人物を再確認できるようになっているなど、既習事項を踏まえて中学校の学習に移行できるように配慮されている。 ・学習したことを新聞や表、年表、地図にまとめるなど、基礎的・基本的な知識及び技能を活用して取り組む言語活動が位置付けられている。 ・章末に学習した内容を表にまとめたり、その時代に対する自分の考えを文章にまとめたりする学習活動が準備されており、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断して表現することができるよう配慮されている。 ・プラスαとして、学習した内容をより深めるための文章資料を位置付け、発展的に学習する内容等が取り上げられている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・導入資料の示し方を工夫するなど、生徒が十分に興味・関心をもって読み進められるよう構成されている。 ・資料の読み取りから学習課題が生み出されるように配慮がなされており、その解決のための写真、地図、文書資料等が大変適切に位置付けられている。 ・学習した内容を年表、地図、表を使ってまとめるページを章末に位置付け、家庭学習を行う際の拠り所となるように配慮がなされている。 ・身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域調べの手順や方法を習得する学習内容が設けられている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の偉人である杉原千畝を「先人に学ぶ」というコラムで取り上げ、地域社会人の育成に資する学習に配慮されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさ、字間、行間は適切である。写真や図表等の印刷は鮮明であり、幅の広いA B判を用い、資料を大きく掲載するとともにカラーユニバーサルデザインに配慮されているなど大変見やすいものになっている。 ・巻末の歴史年表では、日本の歩みと世界の出来事や外国とのつながりが明確な構成になっているなど、生徒が自ら学ぶ際の利便性を考慮したものになっている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・導入、本文、まとめに一貫性のある内容構成になっており、各時代の特色を確実にとらえ、歴史の大きな流れを理解できるよう工夫されている。 ・時代の転換点の様子や時代の特色について考え、判断し、自分の言葉で表現する力を育成することができるよう工夫されている。